

姥堂小学校だより



平成29年度 第8号 平成29年7月20日(木) 発行責任者：遠藤 幸栄

いよいよ夏休みです。しかし、子どもたちは、プールや水遣り、念仏太鼓や陸上の練習にと、何度も学校に足を運びます。教職員も、朝8時15分から通常どおりの勤務を行いますので、子どもたちの様子や学校施設のことで気になることがあった場合は、恐れ入りますが学校までご連絡をお願いいたします。些細なことでも構いません。遠慮なさらずにご一報ください（Tel27-3357）。



水道利用ポスターコンクール

今年も市の水道利用ポスターコンクールに入賞者がたくさんでした。まず、優秀賞に4年生の大原奏歌さん。また、入賞に4年生の大谷千尋さん、5年生の小椋幸穂さん、6年生の須藤陽平君と工藤慎央君、合わせて5名です。昨年は2名でしたから2.5倍の入賞者数ですね。児山先生の熱心な指導に子どもたちが応えた結果だと思えます。みんなよく頑張りました。

夏休みにも、沢山のコンクールが予定されています。コンクールに出すことはとても大変ですが、自分の得意ものを見つけ、ぜひ、チャレンジしてほしいですね。



<14日(金)に行われた表彰式から、手前〇人目が大原さん 福島民報7月15日の朝刊より>

待望の図書館司書配置

28日(水)より、図書館司書に村松朝子先生を迎え、昨年から進めている「本が大好き」大作戦に拍車がかかっています。沢山の本が犇めきあう本棚から、読めそうにもない昭和の書籍を抜き出したり、それとは逆に、今の子どもたちにぜひ読ませたい本を抜き出してテーブルに並べたりと、今まで手の回らなかった作業が進んでいます。子どもたちは、大喜び。夏休みでも、毎週水曜日には、村松先生が来ます。図書室を開放しますので、本を読み、ぜひ来てほしいと思います！



< 2校時の休み時間も大賑わいの図書室 H29.7.12 >

終業式のお話から

4月6日の入学式の日から数えると、今日は106日目。学校に登校した日だけで数えると72日間あった1学期が今日で終了します。この72日間の生活の中で、みなさんは先生方の教えをよく守り、大きく成長しました。6年生は5人でよく姥堂小学校をリードしましたね。もちろん5年生、4年生、3年生、2年生、そして1年生も大変立派でした。これは、自分の担任するクラスはもちろん、ほかの学年の子どもたちでも、同じようにご指導頂いたすべての先生方のおかげでもありますね。

さて、いよいよ明日からは、夏休みです！嬉しいですね。校長先生も、昔とっても嬉しかったことを覚えています。実は、校長先生も、昔は子どもでした。なので、とっても楽しい夏休みがありました。そこで今日は、校長先生の夏休みの思い出を少しだけお話ししたいと思います。

夏休みと言えば、何といても子供会。集落ごとに子どもたちと親が集まって行くバス旅行は、一番の楽しみでした。二本松市東和地区で育った私は、夏は相馬の海に行くのが定番（たまに猪苗代湖の時がありました）。海についたら、まずは潮干狩り。アサリという貝を熊手という道具をつかって掘り出します。そして、みんなで食べる。これが最高においしかった。そして、午後は海水浴。私は海に行ったことなどほとんどなかったから、大きな波が来ると逃げる間もなく飲み込まれ、逆さまになって流されました。遠くから見ていた青くてきれいな海とは違って、海の中は灰色。砂嵐のような海の水の中で、ブクブクという聞き慣れない音が頭の中を駆け巡ります。必死にもがいて、やっと脱出した頃には、口からも、鼻からも海水をいっぱい飲み込んで、苦しいやらしょっぱいやら、それはもう大変でした。

それから、夏休みと言えばお盆。母方のばあちゃんの家に行って墓参り（じいちゃん、といっても若々しい軍服姿の遺影が飾られていました）。従姉妹たちもみんな集まっていて、薪でわかしたお風呂に入ったり、「スイカ、切ったよ！」のおばちゃんの声に、ばあちゃんも、おじちゃんも、もちろん子どもたちも、みんなで食べたスイカの味は最高においしかった。夜は、蚊帳をつってもらって大騒ぎ、それはまるで、となりのトトロのような世界で、実に楽しかったものです。

もちろん、宿題もありました。「夏休みの友」と書かれた問題集が一冊（みんな「夏友」って呼んでいた）。夏友の中には、図画や工作。それから作文の課題も含まれていました。「夏友」はだいたい夏休みの前半、10日間ぐらいで仕上げました。それから、工作が好きだったので、いろいろ工夫しながら、だれも思いつかないような作品作りに挑戦しました。今、思うと夢中になってやっていたその時間が、後の人生に役立っているような気がします。

さて、今日の話のまとめです。君たちと同じように、校長先生にも昔、夏休みがありました。もう40年以上も前になりましたが、今でも覚えていることは、地域の幼なじみと出かけた海、家族や親類と過ごしたお盆、そして宿題なのです。（それから、今日は、話せませんでした、家が農家だったから、養蚕の手伝いは、とても大変なものでした。あと、プールに行った後の帰り道も、懐かしい思い出です。）

さあ、みなさんは、この夏をどう過ごしますか？校長先生からのおすすめは、いろいろな人と一緒に楽しい時間を過ごすこと（ゲーム機は要りません）。それから、水の事故には十分注意すること。宿題は早めに終わらせることの3つです。そうすれば、40年以上たっても忘れない大切な思い出ができますので。それでは、以上で校長先生の話は終わりです。この後、典子先生と芽衣先生から、大切なお話がありますから、よく聞いて守り、8月25日（金）には、44名全員で元気に登校して来てくださいね。

